

委託事業実施内容報告書

平成22年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語教室の設置運営】

受託団体名 多文化共生センター大阪

1 事業の趣旨・目的

現在、大阪市では、基礎日本語会話については、公的機関により教室が開催されているが、文字習得に関しては、生活言語を基本とした基礎レベルの文字教育を行う教室がない。また民間の日本語学校においては生活言語が基本となっておらず、受講料も高価である。一方で、地域の日本語教室においてもほとんどがボランティア主体で、会話が中心の学習が行われおり、文字学習はあまり行われていない。またそのほとんどが、専門家によって開催されている教室ではないという状況にある。そこで、本事業では、日常生活において必要な漢字を認識することができることを目標とした漢字教室を設置することにした。

本事業の第一の目的は「生活に必要な漢字が読めるようになること。」である。留学生とは異なり、いわゆる「生活者としての外国人」とよばれる外国人住民は、日本語を生活の中で身につけているケースが多い。そのような形で身につけた日本語などの音声言語に文字言語を加えることによって、意味は知っていながらも文字としては認識できなかった語彙、特に漢字語彙が読めるようになることを目指した。

2 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
第1回 2010年5月12日 (水) 午19:00～20:00	大阪市立総合生涯学習センター 応接室	岸本満雄 西田能真 中村満寿央 新庄あいみ 新矢麻紀子 永井慧子 御子神慶子 Woo Wai Sheng	1. 出席者自己紹介 2. 多文化共生センター大阪について説明。 3. 多文化共生センター大阪と講座実施グループの関係および現在までの文化庁委嘱事業実績報告 4. 本年度の講座について 5. 大阪市立総合生涯学習センターへの依頼事項	大阪市立生涯学習センターは協賛として関わり、申し込みの受付、教室予約を担当する。 ・チラシの内容確認 ・教室の先押さえ依頼。 ・募集人数は20名に変更。

第2回 2010年6月8日 (火) 19:00～21:00	大阪市立総合生涯学習センター ネットワークコーナー	新矢、永井、御子神、ウー、新庄、藤浦	1) 「チラシ」原稿の確定 2) 翻訳する言語と翻訳者の確定：英語・泰語・葡語・比語・韓(朝語) 3) 送付作業等について 4) チラシ以外 5) 次回ミーティング日の設定 6) これからやること	1) ・ひらがなは読めますか。 チェックマークを作成する。 ・各国語訳の間の線はとってもよいと思う。 ・教室の申し込み締め切りは9月6日 2) ・タイ語、フィリピン語、韓国語(ウー) ・ポルトガル語(新矢が田中に) ・英語(御子神) ・英語が最優先。締め切りは20日(日) 3) 3.1) 「チラシ」 3.1.1) チラシ原稿・宛名の作成 3.1.2) 発送担当：全員 3.1.3) 印刷日 ・6月30日(水) 18時30分に大阪市立生涯学習センター印刷室に集合 ・7月6日(火)か7月8日(木)に基礎日本語教室で配布できるようにする。 3.1.7) 送付先一覧作成 3.1.9) 送付予算の確認 ・各自立て替え 4) 4.1) 藤浦さんの紹介 4.2) 担当責任者の決定 4.3) 当座の会計は各自で立て替えをしておく。 4.4) 前回の資料などは適宜持って来て、ロッカーへ入れておくこと。 5) ・講師と助手について ・講座内容について 6) ・文化庁に前払いを問い合わせる。
--	----------------------------------	---------------------------	---	---

第3回 2010年6月30日 (水) 18:30～21:00	大阪市立総合生涯学習センター作業室	新庄、永井、ウー、御子神、藤浦	1. チラシ発送作業 2. 講座内容についての検討 3. 次回運営委員会	1)・送付状確認、H18年度文字講座参加者への送付状完成 ・送付先・枚数確認、 ・印刷・発送 2)・H17年度・H18年度文字講座資料の見直し。今回使用可能かどうかを検討。 3)日時:2010年7月10日(土) 13:00～17:00 場所:大阪市立総合生涯学習センター5F会議室
第4回 2010年7月10日 (土) 13:00～17:00	大阪市立総合生涯学習センター第4会議室	新庄、永井、御子神、ウー、新矢、藤浦	1. 講座経費仮払いについて 2. 各種業務担当者について 3. 広報、外部からの問い合わせについて 4. 受講者の決定と返信について 5. 教室開催にかかわる責任者と業務について 6. 講座各回の担当講師と補助者および講座当日受け付け担当の決定 7. 指導内容、教材作成	・文化庁との窓口:多文化共生センター大阪(田中) ・多文化共生センター大阪(担当:田中)との窓口:新庄 ・大阪市立総合生涯学習センター(担当:西田さん)との窓口:新庄 ・チラシ作成(完了):ウー ・受講申込書の受け取りと返信:御子神 ・運営委員会議事録:新矢 ・基礎日本語教室(7月15日)への広報:永井、ウー ・大阪市立生涯学習センターでは西田さんが対応 ①受講者の決定 ・15名までは受付順に受け入れ。ただし、中国・韓国の申込者で、本教室のレベル以上に漢字ができそうな場合は、御子神が申込者に連絡をとって判断することとする。 ②返信の方法について ◆第1回目の返信(15名までは受付順に葉書を郵送)

				◆第2回目の返信(8月30日に申込者全員に葉書を郵送) 5) ①責任者 ・全体責任者：新庄 ・補助者責任者：藤浦 ・授業各回の責任者：講師と藤浦 ② 業務等 ・補助者は領収証(ロッカーに保管)を持って鍵を受け取り、18:30までに教室を解錠し、準備する。 6) ① 講座第1回目授業内容(案)(開校式の後) ② 第2回目授業内容(案) ・名刺作成(見本を見ながら、住所と名前の入力をする) ③ 第3回目授業内容(案) ・住所と名前を書く→できる人は、宅配便等の送付状を記入 ④お正月前の授業内容(案) ・年賀状作成 7) ■検討事項 ☆アルクから出版される教材のなかの写真使用について ☆『生活の漢字』にはないがアルクの本に入っているテーマが5つくらいあるので、それも扱う ☆書き練習は行うか、行わないか？ 行う場合は、どの程度行うか？ ●次回運営委員会 日時：2010年7月27日(火) 18:30ー場所：大阪産業大学梅田サテライト教室
--	--	--	--	---

第5回 2010年7月27日 (火) 18:30～21:00	大阪産業大学梅田サテライト教室 セミナールーム	新庄、永井、御子神、ウー、新矢	1. トイレの写真について 2. 授業スケジュールについて 3. 受講申込者の受け付けについて 4. 授業テーマ案について 5. 講座開催に向けた準備について	1) TOTOの商品カタログ写真は使用不可 → 新庄からアルクに連絡 2) 別紙, スケジュール (2010. 7. 27 版) に記載。 3) ・7月27日現在, 16名の申込みがある。 4) ・文化庁教材 (11 テーマ, 別紙ウー作成資料) ○テーマの提出順序については, 教材の易しいものから順に進める。 ○担当者については, 基本的に, 自身が作成したものを担当することとする。 5) ・講座用グッズは次回会議時に検討 ○第1回講座進行案 1) 講座と担当者の紹介と学習者の自己紹介 ◇主催者挨拶 ・多文化共生センター大阪 ・大阪市 西田さんに依頼 ◇講座担当者の紹介 ・講師: 新庄, 御子神, ウー ・補助者: 藤浦, 永井, 新矢 ◇受講生の自己紹介 2) 講座内容の概要を紹介 (新庄) ●次回運営委員会 日時: 第一候補: 2010年8月19日 (木) 18:30ー 第二候補: 18日 (水) 18:30ー 場所: 大阪市立総合生涯学習センター 会議室
---	------------------------------------	------------------------	--	---

第6回 2010年8月19日（木） 18:15～20:30	大阪産業大学梅田サテライト教室 セミナールーム	新庄、永井、御子神、ウー、新矢	1. 物品の確認（31枚分） 2. 申込者について 3. 開講日の連絡について 4. 第1回目（開講日）の準備 5. 第1回目（開講日）の内容 6. 第2回目の内容 7. 担当者とカリキュラムの確定	1）・現在の保管物は別資料を参照すること 2）・現在申込者は23名 ・不参加の人を除いたリストを作成する。（御子神） ・25名以降は、電話でウェイトリング中であることを連絡する。（御子神） 3）・8月30日頃にはがきを出す（御子神） 4）・依頼状、開講日の式次第、および受講者へ配布する式次第の作成（ウー） ・田中さん、西田さんに再度依頼（依頼状を添付する） ・出席簿作成（御子神） 5）①開講式 1時間くらい ②パソコンで「ひらがな」を入力してみよう（拗音、濁音、半濁音も含む）（新庄） その間にインタビューを行い、名札作成する（名札の名前はひらがなかカタカナで書いてもらう。日本語以外で書いた場合にはルビをふってもらう。書けない人には手助けをする）。 ・2回目は名刺を作成しますというアナウンスを行い、サンプルを見せる。 ○配布物：1）教室スケジュール表（ウーが作成したもの） 2）当日のスケジュール表 3）あいうえお表とカタカナ表（新にほんごあいうえお）が貼られたファイル（名前を書いてもらうこと）また「生活
--	---------------------------------------	------------------------	---	--

				の日本語」にある漢字の話 （日本語と翻訳版）を挟んで おく。 4) CD-ROM 5) 名札 ・当日の司会（新矢）できるか どうか確認してから決定する。 6) ・名刺作成を目標とする。 氏名、住所を入力する→名刺を 作成する。 7) ・カリキュラム一覧に空欄 を作り、テーマを入れあって順 番を決定する。
第7回 2011年3 月24日 （木） 19:00～ 20:00	大阪市立 総合生涯 学習セン ター事務 所内会議 室	大阪市立総 合生涯学 習センタ ー 岸本 満雄、西 田能真 文化共生 センター 大阪 中 村満寿央 講座実施グ ループ 庄あいみ、 永井慧子、 御子神慶 子、ウー・ ワイシェ ン、新矢麻 紀子 司 会 :	1. 主催者からの御礼（多 文化共生センター理事中 村満寿央より） 2. 講座完了についての報 告（新庄より） 3. 講座実施グループから の感想 4. 大阪市立総合生涯学習 センターからの質問・意見 等 5. 2011年度文化庁事業申 請の報告とお願い（新庄よ り） 6. 終了挨拶（新矢より）	1) 事業の完了について、大 阪市立総合生涯学習センター に対し、御礼の言葉が述べられ た。 2) 配布資料に基づき、完了し た講座全般についての報告が なされた。 ・地域日本語教室は多数ある が、文字を学習する教室が少 ないなか、文字教育に特化し たことで、大きな成果が上が ったと考えられる。遠方から 通う学習者や全日程皆勤の 学習者がいたことからそれ がわかる。 ・大阪駅前という足場のいい 場所で、全員がPCを使用でき るという学習環境の良さは特 筆すべき利点である。 3) 講師としての感想が、御 子神、新庄から、講師・補助者・ 外国人当事者の視点からの感 想がウーから、補助者としての

		新矢麻紀子		感想が永井から述べられた。 ・過去に２年間の教室開催、１年間の教材開発を行い、そして今年度の教室では、今までの蓄積を授業で実施することができ、充実した授業展開を行うことができた。来年度実施がかなえば、より体系化していきたい。 ・日本に在住する外国人は文字を習得しない限り、だれかの世話になって生きていかなければならない。大阪市には基礎レベルの日本語教室があるが、このような文字教室も市の業務として開催することも検討してもらいたい。 ４）以下のような質問・意見等が出された。 ○漢字系学習者を受け入れるか否かについて ・今回の事業開始前の受講生募集の際に、漢字系学習者から申し込みがあり、受け入れか否かについて少し問題が生じた。次年度に開催が決まった場合には、募集要項に漢字系学習者を受け入れるか否かについて明記しておく必要があるのではないか。 ・現在は基礎レベルの教室でも中国系学習者が圧倒的に多い。 ・漢字系学習者には、彼らに特化した漢字教育が必要であるので、可能であれば、そう
--	--	-------	--	--

				いう教室を別途開催することが必要である。 ・漢字系学習者と非漢字系学習者を混成して同じ授業を行うことは困難である。 ○受講生の申し込み受け付け等について ・定員をどこまでとするか、連絡先をどうするかなど、次回はもっときちんと検討したい。 ・次回実施が決まった場合には、もっとPRを効果的に行いたい。 5) 標記事業に申請を行ったことが報告され、もし採択された場合についてのお願いが大阪市立総合生涯学習センターに対してなされた。 6) 委員会終了前に、岸本氏より、3月末日退職の報告と挨拶がなされた。また、4月より本業務担当の「事業課」の課名変更が行われることも報告された。
第8回 2011年3月26日 (土) 13:00～ 17:00	大阪市立総合生涯学習センター5階メディア研修室	新庄、永井、御子神、ウー、新矢	提出物の確認および完成	①委託業務完了報告書 ②請求書 ③委託業務実施内容報告書 ④帳簿、領収書等

【写真】



3 日本語教室の開催について

- ① 日本語教室の名称 定住外国人のための漢字教室
- ② 開催場所 大阪市立総合生涯学習センター メディア研修室(視聴覚室)
- ③ 学習目標 日常生活において必要な漢字を認識することができることを目標とする。
- ④ 使用した教材・リソース
生活の漢字(H20年度文化庁地域日本語教育支援事業(日本語教材作成)で作成したテキスト)、「新にほんごあいおうえおく生活の漢字」漢字み～つけた、講師がインターネットや広告等から得た写真や情報および自身で撮影した写真等からオリジナル教材を作成した。
- ⑤ 受講者の募集方法
大阪府内の日本語教室を中心に配布。また多文化共生センター大阪の HP 上でも募集を行う。チラシは別添付を参照のこと。
- ⑥ 受講者の総数 24 人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)
(タイ 4人, メキシコ 2人, フランス 3人, マレーシア 1人, 韓国 4人, アメリカ 1人, インドネシア 1人, イスラエル 1人, インド 1人, スペイン 1人, ブラジル 2人, フィリピン 2人, ベトナム 1人) 男性 : 8人、女性 : 16人

* 補足
・ 定員 24 名に対し 30 名を超える受講申込があった。
・ 24 名で開講し、25 人目以降はキャンセル待ち。
・ 開講後 5 回目より、キャンセル待ちの受講申込者 3 名に連絡し、途中参加してもらう。
・ その他、受講者の口コミで途中参加希望者(1 名)もいたが満員のため断った。
・ 居住地域は大阪市が多数を占めているが、近隣の市町村(神戸市、吹田市、茨木市、高槻市、四条畷市、東大阪市、八尾市、河内長野市)からの参加者もいた。
- ⑦ 開催時間数(回数) 60 時間 (全 24 回)

⑧ 日本語教室の具体的内容

* 会場はすべての回を大阪市立総合生涯学習センター 5 階メディア研修室で行った。

* すべての回において 18 : 30 ~ 19 : 00 は自習および質疑応答に充てた。

第 1 回目 2010. 9. 9 (木) 19 : 00 ~ 21 : 00

出席 : 18 名

講師 : 新庄 補助者 : 藤浦、新矢、永井 その他 : 田中、岸本、西田、ウー、御子神

目標 : 教室開講セレモニー

持ち物 : 世界地図、ファイル、ネームカードの用紙

印刷物 : インタビュー用紙 (個別)

時間	内容
19:00	開講式 1) 主催者挨拶 ・多文化共生センター大阪 ・大阪市立総合生涯学習センター 2) 講師挨拶 3) 講座スタッフ自己紹介 4) 受講者自己紹介 5) 講座についての紹介
20:00	パソコンに、五十音表を見ながらひらがなとカタカナを打ち込む。 終わった人から、カタカナかるたゲームに参加する。 その間に、インタビューを実施。
20:45	終了。片づけ

第2回目 2010.9.16（木）19：00～21：00

出席： 17名

講師：御子神 補助者：藤浦、ウー、永井 その他：なし

目標：自分の住所を入力する。名刺を作成する。

準備物：生徒用CD-ROM、教室映写用ワードファイル（メモリースティック）、名刺用紙

配布印刷物：ローマ字入力表、受講番号表

時間	内容
準備	各人のパソコンにファイル1～3（1 漢字変換・2住所・3名刺）を入れておく。
19：00～	漢字変換の説明と練習 住所例の練習 教師の指示に沿って全員で足並みをそろえて行う。サポートが必要な人のところに補助者がつく。
19：30～	自分の住所の入力練習 各自。教師・補助者が個別にサポートする。
20：00～	名刺の作成 教師がやり方を説明し、1枚をいっしょに完成する。 その後、レイアウト・イラスト等各自自由に工夫して、名刺を完成。
20：30頃～	名刺プリントアウト ファイルをCDに保存
20：50～	終了、片づけ

第3回目

2010.9.30（木）19：00～21：00

出席：17名

講師：新庄 補助者：新矢、ウー、永井 その他：御子神

目標：住所を手書き（横書き）で書く。仕上げとして送付状に自分の住所を書き込む

準備物：送付状（ひとり1枚くらい）、鉛筆、消しゴム、ペン、各自の練習プリント、受講者用CD-ROM、教室映写用ワードファイル（メモリースティック）

配布印刷物：ベーシックストロークのプリント、大阪府、市（各市）、区、町の練習プリント、個別の住所名前のプリント

時間	内容
準備	①各自の住所名前プリントを配布しておく。 ゆうパックの送付状を見せ、どこで、なんのために使うものかを確認する。
19：00～	②ベーシックストローク（火 まで、残りは次回） 休憩
19：30～	③自分の住所を書く。一緒にできることは全員で練習し、そのほかは個別で練習する。 漢字の書き順サイト http://kaki.jun.main.jp/ を紹介、参考にしてもらう。 ・ 見本を見ながら書く（ひとり2枚くらい（うち1枚はなぞり書き用）、1枚印刷しておき、必要な分だけわたす）
20：30～	① ゆうパックの申込書に記入（実践練習）
20：50～	終了、片づけ

第4回目

2010.10.07（木）19：00～21：00

出席： 17名

講師： 御子神 補助者：ウー、藤浦、永井 その他：新庄

目標： カレンダー・お金（数字・曜日の漢字）

準備物：

ファイル「カレンダー・おかね」（講師映写兼受講者入力用）

漢字書き練習用ペーパー（受講者配布用A4サイズ4枚）

前回配布のベーシックストロークのプリント

鉛筆、消しゴム、受講者用CDロム

時間	内容
準備	受講者用パソコンにファイル「101007 カレンダー・おかね」を入れておく。
19:00～	「携帯電話 通話禁止 マナーモード設定」 近くの「ヴィ・ド・フランス」で講師が撮影。いっしょに読む。 読みたい漢字を持って来るように再度受講生に言う。
19:10～	カレンダー・お金 パソコンで学習する。受講者は以下の操作を行う。 ・読みや漢字や数字を入力する。 ・ふりがなをつける。（初めて使う機能） 休憩
20:00～	書く ①ベーシックストローク4.を確認（先週配布のプリント） ②きょうの漢字を書きながら、ベーシックストロークを確認
20:50～	終了、片づけ

第5回目

2010.10.14（木）19：00～21：00

出席： 19 名

講師： 新庄 補助者：ウー、藤浦、永井 その他：御子神

目標： 日本人の名前について、比較的多いものを知る。名前の組み立ての基本的ルールを知る。

準備物：

前々回配布のベーシックストロークのプリント、漢字練習プリント（2枚）

鉛筆、消しゴム、受講者用CD-ROM

時間	内容
準備	受講者用パソコンにファイル「第5回 名前 なまえ」を入れておく。
19:00～	携帯で撮影してきたかを聞く
19:10～	ベーシックストロークの残りを行う。 休憩
20:00～	名刺、表札、名札を見せる。 日本人で知っている名前を聞く。 挙がってきた名前＋教室のメンバー（受講者の〇〇、××、△△、☆☆さんも含め）日本人の名前のルール説明 写真と名前を合わせる練習 名前のランキングを見せる。読みを確認する。 名前に使われる基本的な漢字を書く。（余裕があれば）
20:50～	終了、片づけ

第6回目

2010.10.21（木）19：00～21：00

出席：21名

講師：新庄 補助者：ウー、藤浦、永井 その他：御子神

目標：駅に関する漢字を認識できるようになる。

準備物：駅関係の漢字練習プリント（1枚）、鉛筆、消しゴム、受講者用CD-ROM

時間	内容
準備	受講者用パソコンにファイル「第6回 駅 えき」を入れておく。
19:00～	携帯で撮影してきたかを聞く
19:10～	駅の写真を見せる。ここはどこですか。 地名＋駅 会社名・路線名＋駅の気づき 駅、線、西口、東口、北口、南口について 漢字も書いてみる。 休憩 特急、急行、快速、普通の提示、女性用専用車両
20:50～	終了、片づけ

第 7 回目

2010.10.28 (木) 19:00～21:00

出席：18 名

講師：御子神 補助者：ウー、藤浦、永井 その他：なし

目標：お店（買い物に行く）

準備物：

ファイル「お店」（講師映写兼受講者入力用）

漢字書き練習用ペーパー（受講者配布用 A4 サイズ 4 枚）

鉛筆、消しゴム、受講者用 CD ロム

時間	内容
準備	受講者用パソコンにファイル「101028 お店」を入れておく。 先週のお肉のパッケージの写真を〇〇さんからもらって教師用のパソコンに入れておく。（予告編の準備）
19:00～	買い物の話題 行く？どこへ？漢字を見る？
19:05～	「お店」【1】町の中のお店 p.1～p.3 映写教材で漢字を見つける 漢字を入力する p.4～p.6 漢字の読みを入力する p.7～p.8 どこで見ますか。意味を確認する。
19:30～	書く 本、花、米、酒、薬。2 ページ。ただし 2 ページ目は余裕がある人の時間つぶし用。
19:50～	休憩
20:00～	「お店」【2】スーパー 駐車場・駐輪場（10 分） 売り場 全体図（15 分）、店内表示（5 分、塩・米・油のみとりあげる）
20:30～	書く 駐車、魚、肉、牛乳。2 ページ。ただし 2 ページ目は余裕がある人の時間つぶし用。
20:50～	予告編（〇〇さん撮影写真） 片づけ

第8回目

2010.11.04（木）19：00～21：00

出席： 18名

講師： 御子神 補助者：ウー、藤浦、永井 その他：田中

目標： スーパーの漢字

準備物：

ファイル「スーパー」（講師映写兼受講者入力用） 1～5

漢字書き練習用ペーパー 1、2（受講者配布用 A4 サイズ計 4 枚）

鉛筆、消しゴム、受講者用 CD ロム

時間	内容
準備	受講者用パソコンにファイル、スーパーの 1～5 を入れておく。 1 やすいです。 2 なんの にくですか。 3 どののですか。 4 ほぞんします。 5 コンビニの おにぎり
19:00～	スーパーのチラシを見る。 1 やすいです。 漢字を見つける、意味を確認する、入力する 書きましょう 1（お買得、特価、広告の品、20%引き）
20:10～	2 なんの にくですか。 鳥肉、豚肉、牛肉 鶏肉 3 どののですか。 「産」 4 ほぞんします 要冷蔵、要冷凍、保存温度 魚切り身のパックでいろいろな情報を確認 書きましょう（鳥肉、豚肉、牛肉、～産、4℃以下）
20:55	片づけ

第9回目

2010.11.11（木）19：00～21：00

出席： 16名

講師： ウー 補助者：藤浦、新庄、永井 その他：新矢

目標： ごみの種類、収集日

準備物：ファイル「ごみ」（講師映写兼受講者入力用）、指定ごみ袋、粗大ごみ処理券、鉛筆、消しゴム、受講者用CD-ROM

配布物：受講者在住市町村別の「ごみの分け方」・「収集日」、漢字書き練習用ペーパー（A4サイズ1枚）

時間	内容
準備	・受講者用パソコンにファイル「ごみ」を入れておく。 ・受講者在住市町村別の「ごみの分け方」・「収集日」を配布する。
19:00～	導入：日本におけるごみの分別、各国におけるごみの分別
19:05～	ごみ集積所にある「ごみの分け方」の写真を見せる。 ・どんなごみですか。（配布資料を参照しながらごみの種類、分け方の意味を確認し、入力する。例を入力する。） ・ほか関連する語彙を提示する。 ・指定ごみ袋、粗大ごみ処理券を見せる
20:00～	休憩
20:05	・どんなごみですか。（続き） ・ごみをいつ出しますか。（ごみの収集日） ・なんのごみですか。 ・いつ捨てますか。 （配布資料を見ながら入力する）
20:50	終了、片づけ

第 10 回目

2010. 11. 18 (木) 19 : 00 ~ 21 : 00

出席 : 17 名

講師 : 新庄 補助者 : 藤浦、ウー、永井 その他 : なし

見学者 : 飯塚睦氏

目標 : トイレにかんする漢字が読めるようになる。

準備物 : ファイル「第 10 回 トイレ」(受講者入力用)、鉛筆、消しゴム、受講者用 CD
 ROM

配布物 : 生活の漢字 p. 56~p. 57

時間	内容
準備	・受講者用パソコンにファイル「第 10 回 トイレ」を入れておく。
19:00~	前回、★★さんが持ってきてれていた写真「家庭ゴミの持ち込みはお断りいたします」について説明・携帯アナウンス。持ってきた場合は、(略)に添付で送ってもらう。(うーさんか藤浦さんよろしくお願ひします)
19:10~	導入 : トイレいろいろ、男女のよみかた (pp の資料) 入力&ルビ トイレ、手洗い、お手洗い、便所 化粧室
19:20~	ウオッシュレット 漢字探し→入力 止める、強い、弱い、前、後ろ 入れる、切れる洗浄位置、前、後ろ、前後 入れる、切れる、温度調節、高い、低い、運転、温水、座る、運転
20:00~	休憩
20:05	漢字を書く 入れる、止める、切る、座る、温かい、前、後ろ、高い、低い、強い、弱い
20:35	復習&おまけコーナー
20:50	終了、片づけ

第 11 回目

2010. 11. 25 (木) 19 : 00 ~ 21 : 00

出席 : 16 名

講師 : ウー 補助者 : 藤浦、新庄、永井 その他 : 御子神

目標 : 店頭求人広告に関する漢字が認識できるようになる

準備物 : ファイル「アルバイト・パートを探します」(講師映写兼受講者入力用)、鉛筆、
消しゴム、受講者用 CD ロム

配布物 : 漢字書き練習用ペーパー (A4 サイズ 1 枚)

時間	内容
準備	・受講者用パソコンにファイル「アルバイト・パートを探します」を入れておく。
19:00～	・導入 : お店の前で見たことがありますか。(シンプルな店頭求人広告の写真を見せる) ・どんなアルバイトですか。(店頭求人広告に使われる様々な漢字を認識させ、入力する)
20:10～	休憩
20:20～	漢字を書く 「募集」、「急募」、「時給」
20:40～	復習
20:50	終了、片づけ

第 12 回目

2010.12.02（木）19：00～21：00

出席： 16 名

講師： 御子神 補助者：ウー、藤浦、永井 その他：なし

目標： 年賀状を作る

準備物：ファイルPDF年賀状1～5、ファイル年賀状ダウンロードURL、年賀はがき、
筆ペン、鉛筆、消しゴム、受講者用CD-ROM

配布物：漢字書き練習用ペーパー（5 ページ + 各自住所縦書き練習用紙1 ページ）、十
二支説明用イラスト（A4 1 ページ）

時間	内容
準備	・受講者用パソコンにファイル年賀状1～4、ダウンロードURLを 入れておく。
19:00～	・年賀はがき、筆ペンを配布する。 ・年賀状について情報提供（種類・投函日・十二支など）
19:15～	・PDFファイルを見ながら年賀状に使われている字や文を書く（手 書き）。
20:15～	休憩
20:25～	年賀状デザインがダウンロードできるページからダウンロードし、プ リントアウトする。
20:45～	各自の住所の練習用紙を渡し、はがきのどこに何を書くかなどを説明 する。
20:55	終了、片づけ

第 13 回目

2010.12.09（木）19：00～21：00

出席：15名

講師：ウー 補助者：藤浦、御子神、永井 その他：新矢

目標：自転車置き場にある標示で使われる漢字が認識できるようになる

準備物：ファイル「自転車置き場」（講師映写兼受講者入力用）、筆ペン、鉛筆、消しゴム、
受講者用CD-ROM

配布物：漢字書き練習用ペーパー（A4 2ページ）

時間	内容
準備	・受講者用パソコンにファイル「自転車置き場」を入れておく。
19:00～	・自転車置き場にあるいろいろな標示の写真を見せる。 ・漢字を認識させ、入力する。
20:05～	休憩
20:10～	漢字を書く。 「有料」、「満車」、「注意」、「禁止」
20:40～	自転車に乗る時のルールに関するクイズ（例えば：無灯火運転、二人乗りなど）
20:50	終了、片付け。

第 14 回目

2010.12.16 (木) 19:00～21:00

出席： 14 名

講師： 御子神 補助者：ウー、藤浦、永井 その他：なし

目標： 日本の祝日を知る

準備物：PDF ファイル 2011 カレンダー、ワードファイル 101216 国民の祝日、ワードファイル復習（教師映写用）、2011 カレンダー実物、鉛筆、消しゴム、受講者用CD ロム

配布物：1. 漢字書き練習用 2. 季節の行事（イラストと漢字練習）

時間	内容
準備	受講者用パソコンにファイル「2011 カレンダー」と「101216 国民の祝日」を入れておく。
19:00～	集まりが悪い場合、第4回カレンダー関連の復習。復習ファイルを教師が映写し、学習者が読む。
19:10～	カレンダー（実物とPDF ファイル）で、赤色の日を見つける。赤色の数字の下の漢字を見る。
19:15～	祝日の読み・漢字入力。祝日についてのインフォメーションや各国の祝日の話。
20:00～	休憩
20:10～	漢字書き練習
20:30～	季節の行事紹介・漢字練習（時間があれば）
20:50～	片づけ・終了。

第 15 回目

2011. 1. 13 (木) 19 : 00～21 : 00

出席 : 15 名

講師 : ウー 補助者 : 藤浦、永井

目標 : 公園の周囲にある標示で使われる漢字が認識できるようになる

準備物 : ファイル「公園」(講師映写兼受講者入力用)、筆ペン、鉛筆、消しゴム、受講者用CD-ROM

配布物 : 漢字書き練習用ペーパー (A 4 1 ページ)

時間	内容
準備	・ 受講者用パソコンにファイル「公園」を入れておく。
19:00～	・ 公園の周囲にあるいろいろな標示の写真を見せる。 ・ 漢字を認識させ、入力する。
19:50～	多言語による放送が視聴できるラジオ局を紹介。(災害時多言語にて情報収集))
20:00～	休憩
20:05～	「公園」の続き。
20:25～	漢字を書く。 「避難所」、「避難地」。
20:50	終了、片付け。

第 16 回目

2011. 1. 20 (木) 19 : 00 ~ 21 : 00

出席 : 14 名

講師 : 御子神 補助者 : ウー、藤浦、永井 その他 : 新庄、新矢

目標 : 台所の電気製品の表示が読める。

準備物 : ファイル第 16 回うちの台所 110120、ファイル料理他 (教師用)、ファイルトイレ (復習用簡易版)、鉛筆、消しゴム、受講者用 CD ロム

配布物 : 漢字書き練習用 (A 4 4 枚)

時間	内容
準備	受講者用パソコンにファイル「第 16 回うちの台所 110120」を入れておく。
19:00～	第 10 回トイレの復習。復習ファイルを教師が映写し、学習者が読む。
19:10～	1 ポット p. 1 ふりがながついていない漢字にふりがなをつける p. 2 漢字を打ち込む
19:25～	2 炊飯器 p. 3 ふりがなをつける p. 4 意味を確認する (教師用ファイルを映写)
19:40～	書き p. 1, p. 2, p. 3
20:10～	休憩
20:20～	3 オープンレンジ p. 6 ふりがなをつける p. 7 ふりがながついていない漢字にふりがなをつける 意味を確認する (教師用ファイルを映写) p. 8 ふりがながついていない漢字にふりがなをつける
20:35 ～	書き p. 4
20:50～	片づけ

第 17 回目

2011. 1. 27 (木) 19 : 00 ~ 21 : 00

出席 : 14 名

講師 : 新庄 補助者 : ウー、藤浦、永井 その他 : 新矢

目標 : 病院の表示を見て、そこが病院かどうか、何科の病院かが分かる。また看板や診察券をみて、診察時間や休診日が分かるようになる。

準備物 : 第 17 回 病院_1 ファイル、鉛筆、消しゴム、受講者用 C D ロム

配布物 : 漢字書き練習用 (A 4 1 枚)

時間	内容
準備	受講者用パソコンにファイル「第 17 回 病院_1 ファイル」を入れておく。 データが重いため、pdf ファイルを保存することにした。
19:00～	携帯で写真を撮った人はいるかどうか確認。
19:05～	最初に病院へ行ったことがあるか等を聞く。 病院を示す言葉(病院、医院、診療所、クリニック)を紹介し、写真の中から探す。 ～科、歯科、耳鼻科、耳鼻咽喉科、眼科、外科、内科、産婦人科、小児科を紹介し、診察券、休診日など P C に打ち込む
19:45～	休憩
19:55～	前半の復習 漢字を書く練習 内科、外科、医院、病院
20:20～	休日急病診療所、健康保険証を紹介し、打ち込む 大阪府の病院検索サイトの紹介。 本日の振り返り 来週の内容のアナウンス
20:50～	片づけ

第 18 回目

2011. 2. 3 (木) 19 : 00 ~ 21 : 00

出席 : 12 名

講師 : 新庄 補助者 : ウー、藤浦、永井 その他 : なし

見学者 : 中村昭義氏

目標 : 薬の表示が読める。

準備物 : 鉛筆、消しゴム、受講者用 CD ロム

配布物 : 漢字書き練習用 (A 4 2 枚)

時間	内容
準備	受講者用パソコンにファイル「第 18 回 病院_2 pdf」を入れておく。
19:00～	見学者の紹介 (紹介者の永井さんから) 携帯の写真について聞く
19:10～	前回の復習 節分の話
19:25～	薬はどこで買いますか。 何の薬？
20 時ごろ	休憩
20:10～	漢字の練習 残りの入力 *p. 10-16 までは扱えず、うーさん、すみませんが紹介のみで構いませんので来週扱っていただければと思います。無理そうなら、2 月 17 日に扱います。
20:50～	片づけ

第 19 回目

2011. 2. 10 (木) 19 : 00 ~ 21 : 00

出席 : 12 名

講師 : ウー 補助者 : 藤浦、新矢、永井 その他 : 新庄、御子神

目標 : 公共料金の取扱票や払込票が読める。

準備物 : ファイル「電気、ガス、電話」(講師映写兼受講者入力用)、鉛筆、消しゴム、
受講者用 CD ロム

配布物 : 漢字書き練習用 (A 4 1 枚)

時間	内容
準備	受講者用パソコンにファイル「電気、ガス、電話」を入れておく。
19:00～	導入 : コンビニエンスストアの看板にある「各種公共料金窓口」の 写真を見せて、公共料金の支払いの仕方などを話す。
19:10～	これはなんですか。 ・電気料金の払込票、受領証、封筒、延滞督促状 ・ガス料金の払込票、領収証とその封筒
20:00	休憩
20:10～	これはなんですか。(続) ・電話料金の払込票、領収証、封筒、延滞督促状 ・水道料金の払込票の紹介 ・払込票に書かれてある「本書により集金することはありません」 を紹介・説明
20:30～	漢字の練習 : 「重要」、「料金」
20:45～	終了、片づけ

第 20 回目

2011. 2. 17 (木) 19 : 00 ~ 21 : 00

出席 : 9 名

講師 : 新庄 補助者 : ウー、藤浦、永井 その他 : なし

目標 : 部屋さがし情報が読める 薬の表示が読める。

準備物 : 鉛筆、消しゴム、受講者用 CD ロム

配布物 : 漢字書き練習用 (A 4 2 枚)

時間	内容
準備	受講者用パソコンにファイル「第 20 回 部屋をさがす」「第 18 回 病院_2 word」を入れておく。
19:00～	携帯の写真について聞く
19:10～	部屋をさがす
19:25～	休憩
20 時ごろ	漢字の練習
20:10～	薬の *p. 10-16
20:50～	片づけ

第 21 回目

2011. 2. 24 (木) 19 : 00 ~ 21 : 00

出席 : 11 名

講師 : 御子神 補助者 : ウー、藤浦、永井 その他 : 新庄、新矢

目標 : 銀行の A T M の表示の意味がわかる。

準備物 : ファイル銀行 1 ~ 3、鉛筆、消しゴム、受講者用 C D ロム

配布物 : 漢字書き練習用 (A 4 3 ページ)

時間	内容
準備	受講者用パソコンにファイル銀行 1 ~ 3 を入れておく。
19:00~	ファイル銀行 1 と 2 を明ける。銀行 1 は書きこめないの、1 を見ながら 2 で作業することを簡単に説明する。 銀行 1 ・ 2 「銀行」の文字を読む。自分の利用している銀行を打ち込む。支店名まで入力する。 お取扱中、通帳を読む。入力する。 取引の種類を読む。入力する。 硬貨、紙幣、振り込め詐欺 (この部分は入力なし) 利用時間 手数料、無料 (復習)、平日・土曜日・日祝日 (復習)、どの取引がいつ無料でできるか確かめる。入力する。
20:00	休憩
20:10~	銀行 3 画面の文字と指示の内容を確認して行く。
20:30~	書き練習 とりあえず 2 枚 銀行、入れる、預け入れ、入力、出す、引き出し、押す、通帳 (時間があれば 3 枚目、通帳記入、通帳記帳)
20:50~	片づけ

第 22 回目

2011. 3. 3 (木) 19 : 00 ~ 21 : 00

出席 : 8 名

講師 : 御子神 補助者 : ウー、藤浦、永井 その他 : 新庄、新矢

見学者 : 向井留実子氏、高橋志野氏

目標 : 学校で見る漢字を通して学校について知る。

物 : ファイル学校 1 ~ 3、鉛筆、消しゴム、受講者用 CD ロム

配布物 : 漢字書き練習用 (A 4 3 ページ)

時間	内容
準備	受講者用パソコンにファイル学校 1 ~ 3 を入れ、1 を開けておく。
19:00~	学校 1 「学校」「年」「組」「~室」(児童が勉強する所) 学校 2 「~室」(先生たちがいる所) ファイルに入力
19:40~	手書き練習 学校・年・組・室・教室・職員室
20 : 00~	休憩
20:10~	学校 3 入学式・卒業式・予定表 ファイルに入力
20:40~	手書き練習 入学式 卒業式
20:50~	片づけ

第 23 回目

2011. 3. 10（木） 19：00～21：00

出席： 7 名

講師： ウー 補助者：藤浦、新庄、永井 その他：御子神

目標： 不在連絡票が読めるようになる。

準備物： ファイル「不在連絡票」（講師映写兼受講者入力用）、鉛筆、消しゴム、受講者用CD-ROM

配布物： 漢字書き練習用（A4 1 枚）

時間	内容
準備	受講者用パソコンにファイル「不在連絡票」を入れておく。
19:00～	導入：宅配便などの配達員の写真を見せ、日本および各国における宅急便事情について話す。不在連絡票（写真と実物）を見せて説明する。
19:10～	クロネコヤマト、佐川急便、郵便局の不在連絡票に書かれている情報を読み取って再配達の方法を説明する。入力練習。
20:00	休憩
20:10～	不在連絡票の続き。
20:30～	漢字の練習：「再配達」、「受付」
20:50～	終了、片づけ

第 24 回目

2011. 3. 17 (木) 19 : 00 ~ 21 : 00

出席 : 9 名

講師 : 新庄 補助者 : 藤浦、ウー、永井 その他 : 御子神、新矢

目標 : 葉書に住所を書く。アンケート記入。修了式

準備物 : アンケート、鉛筆、消しゴム、受講者用 CD ロム

配布物 : 住所手書き練習プリント (A 4 1 枚)

時間	内容
準備	受講者用パソコンにファイル「外国人のための漢字教室アンケート」を入れておく。
19:00～	住所手書きプリントにて、名前と住所の練習
19:20～	葉書に自分の住所と名前を書く。縦書きでも横書きでもよい。 終わった方からアンケートに記入する。
20:15～	修了式 修了証書をお渡しする。 茶話会
20:45～	終了、片づけ

⑨ 特徴的な授業風景(2～3回分)

*授業に用いた写真は、インターネットからの引用や講師自身が撮影したものであるため掲載しない。

●第10回 テーマ「トイレ」の授業報告 担当者:新庄あいみ

1. テーマに入る前に、受講者が「街の中で見かけた漢字で意味がわからなかったもの」を取り上げた。この回は、前回の「ごみ」の回に、コンビニ等でみかける「家庭ごみの持ち込みはご遠慮願います」を取り上げた。「家庭ごみ」については前回の「ごみ」の回で学習しているので、復習を兼ねて意味を尋ねた。そして、「家庭ごみの持ち込みはご遠慮願います」と書いてある写真（コンビニとコンビニ前のごみ箱の写真）を用い、文章の意味と、なぜこのような表示がなされるようになったのかを説明した。
2. テーマの「トイレ」の導入として、日本で「トイレ」を意味する言葉はどれくらいあるのかを尋ねた。そして、日本ではトイレ以外にも同じ意味をあらわす言葉「手洗いやW.Cなど」を提示した。
3. シャワー付きトイレが使えるようになるために、実際のシャワー付きトイレの写真を用い、使用するために必要なボタンに書かれている漢字の確認を行った。またシャワー付きトイレを使ったことがあるか、どんな感じだったかなど学習者のエピソードなども尋ねた。
4. 教師がプロジェクターで映す教材は学習者の各 PC に同じものをあらかじめ入れてある。授業では、教師は写真を見ながら、漢字の説明を行う。そして、提示した漢字をまず教師が読み、学習者も読んだあと、学習者にパソコンに入力するよう促す。パソコンに入力することで、本当に読めたのかが分かる。もし、入力した「ひらがな」が間違っていたら、正しく漢字に変換できないからである。また同音訓漢字が多い場合、候補漢字から漢字を探すという作業となるため、漢字を認識する練習ともなっていたようだった。
5. 授業の真ん中あたりで、一旦休憩をとったあと、漢字を書く練習をする。通常5～6くらいの漢字および漢字語彙を提示し、漢字を書く。新庄のやり方は、まず書く目標となっている漢字の語彙を言い、どの言葉のどの漢字を書くのか明確にする。たとえば「強弱の強を書きます」というように。そして、漢字のセグメントに注目した漢字の説明を行う。次に、漢字の書き順（数字）を声に出しながらゆっくり書いていく。そのとき学習者には空書きするよう促し、一緒に書くようにする。このとき、すでに学習した漢字が漢字のなかに含まれていたら、再認識できるよう一言添える。これを三回ほど繰り返し、その後、各自に配ったプリント上に練習してもらう。学習者が練習している間は巡回し、間違えて書いていないか確認する。

6. 書く練習を途中にはさみ、再度漢字の説明と入力に戻る。「トイレ」の回は、シャワー付きトイレのほかに、女性のトイレにある音が出る装置、便座クリーナーや非常用ブザーの説明も行った。

(感想) 日本と各国では、トイレの設備に大きく違いがあるものの、なかなか他人に尋ねることができないことでもあるのか、学習者の驚いた顔や納得するような顔、また笑い声などが忘れられない回となった。

●第15回 テーマ「公園」の授業報告 担当者:ウー・ワイシェン

1. 住宅街にある公園の写真を数枚見せる。「公園」という漢字を認識させるため、「〇〇公園」との表示が入っている写真を用意した。日本での公園と受講者の母国での公園について話す。
2. 公園で見かける表示・看板を写真で見せる。「避難地」、「避難所」の類の写真を重点的に取り上げる。日本の公園は地震や洪水といった災害が発生した際に一時避難地としての機能を有することを話す。
3. 「避難地」を含み、表示に書かれている関連語彙と文章を読み、入力練習を行う。パソコン入力に不慣れな受講者には講師と補助者がその入力作業を補助する。パソコンに不自由しない受講者は自力で入力作業を行うが、講師と補助者が入力されたものに誤りはないかと見回って確認する。「避難地」の表示と共に掲載される地図の読み方を簡潔に説明し、よく使われる「現在地」を取り上げる。また、災害時における情報収集の手段として多言語放送のあるラジオ局を紹介する。
4. 避難関係の他に、「不法投棄厳禁」、「駐車禁止」、「深夜団体利用禁止」など、警告・注意の類の表示も取り上げて説明を行ったのち、入力練習を行う。
5. 残り 40 分ごろになると、漢字を書く練習に移る。ホワイトボードに書く予定の漢字を予め書いておく。「避」など、構成が複雑な漢字はパーツに分けて書く順を示す。「避」や「難」のように音訓両方を持ち合わせる漢字については、音、訓という順で説明する。漢字を認識できるようになるために漢字を組み立てている部品を指摘し、記憶しやすいように工夫する。書く順については、受講者に配布する練習用のプリントに記入してあるが、より印象に残させるためホワイトボードで画数を数えながら示すようにしている。受講者が書く練習をしている間、講師と補助者が巡回し、間違えて書いていないか確認する。

(感想) 日常的な存在である公園が災害時に非日常的な機能を果たすことに受講者が興味を示し、とりわけ滞在歴の短い者からの驚く声も聞こえた。避難地というキ

ワードから災害発生時の自分の身の守り方、避難地への行き方、家族との連絡の仕方について受講者同士、補助者、講師を含めて教室全員で話し、情報交換も促進できたと思う。

●第21回 テーマ「銀行」の授業報告 担当者:御子神慶子

1. パソコンに入れたファイル中の写真から「銀行」の文字をさがす。いくつかの銀行名を読む。「銀行」の文字を入力する。
2. 各自が利用している銀行名と支店名を挙げてもらい、自分の利用銀行をパソコンに入力して行く。
3. ATMの写真を用いて、ATMでできる操作とその日本語語彙と漢字表記を学習する。ATMに貼られている「振り込め詐欺注意」などの文言も読んでみる。
4. いくつかの漢字を取り上げ、形（漢字を組み立てている部品）、意味、読みなどについて確認し、手書き練習を行う。漢字を認識できるようになるために形を一度書いてみることを目的とする。
5. 再度パソコン上のファイルでATMでの引き出し操作の文言を画面ごとに確認していく。日本語での操作説明がわかるようになることを目標とする。

（感想）ATMを利用している人、していない人、英語で利用している人などがいる。多言語のATMの存在を知らない人もいて、そうした情報も交えながら、授業が進んだ。ATMで何ができるか、自分のしたいことはどの文字を選べばいいか、という生活に密着した学習でもあり、非常に熱心に取り組んでいた。

⑩ 活用した日系人等(日本語を母語としない)の名簿

氏名	母語(国籍)	来日年(日)数	参加回数	当該教室での役割
Woo WaiSheng (ウー・ワイシェン)	広東語・北京語 (マレーシア)	5年6ヶ月	24回	授業講師および補助

⑪ 支援者の名簿(⑩以外)

氏名	所属	専門分野及び日本語教育に関する資格	参加回数	当該教室での役割
御子神慶子	財団法人海外技術者研修協会 日本語講師	日本語教育	19回	講師・補助者
新庄あいみ	大阪大学サイバーメディアセンター 特任助教	日本語教育	17回	講師・補助者
Woo WaiSheng (ウー・ワイシェン)	大阪大学大学院生	日本語教育	24回	講師・補助者
永井慧子	〈ことばの会〉もりのみや コーディネーター	日本語教育	24回	補助者
新矢麻紀子	大阪産業大学教養部 准教授	日本語教育	10回	補助者
藤浦五月	大阪大学大学院生	日本語教育	23回	補助者

4 事業に対する評価について

① 当初の学習目標の達成状況

漢字に興味を持ち、身の回りで目にする漢字のことばの意味がわかり、日本での生活が少し快適になる、という目標は達成されたと感じる。⑥のアンケート結果による。

② 学習者の習得状況

言語能力を測るための客観的なテストは実施していないが、学習者から、授業の後や帰国前に次のような言葉をかけられた。例えば、「(この教室に来て)生活が変わった。」「これまで大阪の電車には乗ったことがなかったけれど、漢字が読めるようになって、今では定期も買ってよく梅田で買い物をしている」、「約2時間かけて、河内長野市から教室に通っている。漢字を勉強できるから。」「スーパーで買い物していて、1本より2本買う方が安いと思って買っていたが、一本のみ特価になっていて、2本目からは通常の価格だということがわかった。」「自分のごみを出すことができる」「買い物する時、食品表示を見るようになった」などである。

このような言葉が聞けたことは、当初の学習目標を達成できたのではないかと考える。

② 日本語教室設置運営の効果, 成果

在住外国人の漢字学習の必要性について、本事業での活動の内容をふまえて「地域で活動する日本語ボランティアのための研修会 in 名古屋」(2011年2月26日 於 ウィンクあいち 愛知県産業労働センター)にて研修を行った。そこでのアンケートを一部抜粋すると、次のようなコメントが来場者から聞かれた。

「知りたい漢字を写メールで撮ってくるというアイデア はいただきです」「共感することが多くボランティアの真髄をみました」「ふだん目にする漢字から使っていくことが大事だと感じた」

上記と似たコメントは多く、「漢字が読めるようになること。」の必要性を訴えることができたと思われる。またそのことは、参加者それぞれの活動場所で生かされることは、本事業の成果の一つである。

③ 地域の関係者との連携による効果, 成果 等

授業に下記の方々が見学に来られた。

見学日 11月18日

見学者 飯塚 睦氏

見学日 2月3日

見学者 中村昭義氏

見学日 2011年3月3日

見学者 高橋志野氏・向井留美子氏

それぞれの方が、地域における日本語教育に携わっており、本事業での実践を活動場所での漢字学習に役立てるとのことであった。

また地域の別団体との連携という意味で、本事業終了後に別の日本語教室で継続的に学習ができるように、大阪府下の日本語教室の一覧表を配布した。また、最終日にはインターネットを用い、居住地の近くにある日本語教室を紹介した。

④ 改善点, 今後の課題について(具体的に記述する。)

a. 現状

年明けから一時帰国などのため、参加できなくなる受講生が増えた。しかし、日程を前倒しすると、夏休み期間と重なるため参加者が募りにくい状況になるおそれがある。改善点としては、受講者を定員より多めに受け入れておくことや短期集中で開講することなどが考えられる。

b. 今後の課題

継続的な学習につなぐためにはどのような学習方法が必要なのか。また授業をどのように行っていくのか。漢字を体系的に学習するためには、どのような知識を身につければいいのか、またどのように教授していくことが必要なのか、という二つの点が大きな課題といえる。

c. 今後の活動予定, 展望

平成23年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業〈教室設置運営〉に再委託を申請中である。

今後は単発的な事業ではなく、在住外国人の日本語学習が公的な保障のもとで、継続的に行われることを願う。

⑥ ②の他参考資料

最終回に、受講者にアンケート記入を依頼した。以下に質問と回答を記載する。

① この教室があることを何で知りましたか。

住所地の市役所、日本語教室（あべの日本語読み書き教室、識字日本語カフェなど）、図書館などでチラシを見た、友達に聞いたなど。

② みなさんが勉強した漢字です。よかったテーマ・役に立ったテーマに○をつけてください。

（複数可）

	めいし 名刺をつくる
	そうふうさくせい じゅうしょ か 送付状作成: 住所を書く
	かね つきひ ようび すうじ カレンダー・お金（月日、曜日、数字）
	にほんじん なまえ 日本人の名前
	えき 駅
	みせ か もの い お店（買い物に行く）
	みせ お店（スーパーにあるもの）

	ごみ
	トイレ
	パート・アルバイト探し
	ねんがじょう 年賀状をつくる
	じてんしゃ お ば 自転車置き場
	しゅくじつ 祝 日
	でんきせいひん 電気製品
	こうえん ひょうじ 公園にある表示
	すいはんき ポット、炊飯器、オーブンレンジ
	びょういん ひょうじ 病 院 の 表 示
	くすり 薬
	ゆうびんう こうきょうりょうきん 郵便受けに入っているもの: 公共料金
	へ や じょうほう 部屋さがしのための情報
	ATM
	がっこう し 学校 お知らせ
	ゆうびんう はい ふざいれんらくひょう 郵便受けに入っているもの: 不在連絡票

上記すべてに○をつけている受講者が多かった。◎で特に、よかったことが強調されていたものは、「名刺を作る」「駅」「お店」「ごみ」「パート・アルバイト探し」「年賀状をつくる」「電気製品」「病院の表示」「薬」「ATM」である。

③ 授業の良かったところと悪かったところは何ですか。

・良かったところ

楽しかった、全部良かった、全部が生活に必要な実際に使える内容だった、先生の指導も授業内容も良かった、時間割が理想的だった、クラスの雰囲気が良くリラックスして楽しかった、役に立った、大切な言葉と意味をたくさん勉強した、漢字のベーシックストロークがわかった、簡単な漢字が少し読めるようになった、など。

・悪かったところ

時間が短かった、日本語がまだ上手じゃないのでときどきわからなかった、もっとたくさん漢字を勉強したい、宿題があるとよかった、自分が欠席したこと、など。

④ 授業の内容はどうでしたか。

()このままでいい ()もっと書きたい ()もっと読みたい ()もっと話したい

「もっと書きたい」「もっと読みたい」という希望が大多数からあり、「もっと話したい」という回答もそれに次いだ。

コメント(Comment)

- ・ちょっと文法も勉強したい、知りたいことがまだたくさんある、
- ・今こどもにこれはどういう意味？あれはどういう意味？と聞かなくてよくなった
- ・ハローワークが同じビル（梅田駅前第2ビル）の16階にあるので連携した内容ができれば仕事を探すのにもっと役に立つ、など。

⑤ 漢字を書く練習について聞きます。

()たくさん書けた ()もっと書きたかった

もっと書きたかった、という意見が多かった。たくさん書けたと両方に○をしている人もいた。

コメント(Comment)

- ・書く練習をする時間があまり長くなかったので家でも練習できるとよい

- ・最初漢字を書くのが嫌いだったが今おもしろくなってもっと知りたいと思う

⑥ パソコンつかを使った勉強はどうでしたか。

()よかった ()難むづかしかった

よかったという意見がほとんどだったが、難しかったという意見も少しあった。

コメント(Comment)

よかった、パソコンをもっと勉強したいと思う、パソコンで漢字をたくさん知って勉強したい、キーボードの使い方とコンピューターに日本の漢字を正確に書くことを学ぶことはとても役に立ったし家で自習が可能になった

⑦ ほかに 勉 強べんきょうしたい漢字かんじはありますか。それはどんなところかに書いてある漢字かんじですか。

細かい表示を読むための動詞の漢字、日常会話に出てくることが、生活のための漢字をもっと勉強したい、新聞や広告や専門書などの難しい漢字も勉強したい、まだひらがなやかたかながうまく書けないのでまずそれを一生懸命練習してから基礎的な漢字を勉強したい

⑧ この教 室きょうしつで 勉 強べんきょうしてよかったことはありますか。それはどんなことですか。

- ・今は町の中で読めたり、意味がわかる漢字がたくさんあって、そのおかげで前よりもたくさんの事ができるようになった。情報が多くなり、一人でもいろいろなことが前よりできるようになった。
 - ・本当に来てよかったです。様々な分からないことが分かるようになって喜んでいきます。病院、薬の部分は、本当に分かるようになって嬉しいです。
 - ・勉強したことは全部必要なことだったので、よかった。
 - ・漢字もパソコンも。
 - ・日本に住んでいて毎日の生活で役に立つ大切な漢字をたくさん勉強した。それに少し漢字が書けるようになった。
- など。

⑨ この教 室きょうしつと同じような、漢字を 勉 強かんじする教 室べんきょうがあつたら、勉 強きょうしつしたいですか。

()はい ()いいえ

全員が「はい」と答えた。

- ⑩ 時間や曜日など、いつが一番行きやすいですか。勉強できる時間、すべてに○をつけてください。

	げつ 月	か 火	すい 水	もく 木	きん 金	ど 土	にち 日
ごぜん 午前							
ごご 午後							
よる 夜							

今回の木曜日夜という時間帯は都合がつけられる時間帯のようであるが、ほかは受講者によって違う。

- ⑪ 今年の秋から、同じような漢字を勉強する教室があるかもしれません。そこで勉強したいですか。

全員が「はい」という回答だった。

- ⑫ 漢字教室に来て、あなたの生活は変わりましたか。何がどのように変わりましたか。

- ・病院のことだいたいわかるようになりました。
- ・電気製品、病院などいろいろと助けになりました。
- ・スーパーの漢字を読むことができる。区役所の書類を書くことができた。
- ・コンピューターにひらがな、かたかな、漢字を入力する方法を学んだ。病院、銀行、駅やどこでもわかる漢字を見つけられる。
- ・駅で必要な切符を選べるようになった。道案内が少し読めるようになった（北、南など）。道がわかるようになった。お店で商品を買う時にどこのものか見分けられ、何でできているのかわかるようになった。

など。

- ⑬ 漢字教室に来て、あなたの漢字や漢字学習に対する印象（感じ方）は変わりましたか。

- ・漢字の勉強大好き。
- ・このコース以前は、漢字は情報を隠している、まるで魔法のような美しい模様のように

だと思っていた。その美しさがなくなっているわけではないけれど、今は多くの情報が含まれている役にたつ道具だ。前は絵を描くような感じで漢字を書いていたが、今はそれを文字として書いている。

- ・書き方がわかるようになりました。
- ・漢字をたくさん知って、書き順も分かるようになって、少しは自信をもって使うようになって漢字が好きになりました。
- ・漢字を読むことができる。使い方もおもしろい。
- ・おもしろさがわかった。もっともっと読み書きを勉強したい。

など。

⑭ かんじきょうしつ 漢字教室 お を終わってからも、ひとり 一人で べんきょう 勉強 つづ を続けますか。 なに 何で、べんきょう どうやって 勉強しよう

おも 思っていますか。

- ・ひらがなとかたかなとベーシックな漢字を書く練習をもっとしたい。
- ・今はうちで友達に借りたノートで勉強しています。『kanji para recordar (remembering kanji)』という2000字ほど漢字を収録しているものを使っています。トピックやシーンのシラバスではなく、難易度順です。どのように漢字を書くのか、どのようにしてストーリーで覚えるのかも載っています。唯一の欠点は、スペイン語で意味は説明してあるけれど、漢字の読み方、音読みと訓読みについて書いていない事です。
- ・コースで勉強した漢字を復習したり、書く練習をしたい。
- ・漢字は続けたいと思いますが、教室で先生と勉強したいです。
- ・小学生の漢字から、一人で続けて勉強しようと思います。
- ・家で勉強しても、やはり学校の教室で勉強するほうがよく勉強できる。

⑮ おも そのほか、か 思ったことを書いてください。

- ・授業は教えてくださった先生がたによってよく考えられていたので、面白くて、役に立つものでした。あっという間にクラスが終わってしまっていて残念です。
- ・ひらがなとかたかなが上手に書けるようになりたい。そうすれば漢字もわかりやすいと思う。たぶん学校の書くコースをさがして、入りたい。
- ・生活が簡単になるようになんでも勉強したいと思っています。文法とか言葉を覚えたいと思います。
- ・できるなら漢字全部勉強したいです。一生懸命勉強しようと思っています。
- ・みんなやさしい。みんな好きです。みんなありがとう。など。